



# 2 学年だより (第10号)

平成30年2月5日(月)  
2学年主任 藤田 雅仁

## 全商検定を終えて



1月から始まった全商情報処理検定試験、簿記検定試験、商業経済検定試験の3週連続検定試験が終わりました。商業高校生が経験する一つの試練ともいえる期間が終わったわけです。1月30日に情報処理検定試験の結果が発表されました。2学年はビジネス情報、プログラミング両部門において140名の1級合格者が出ており、よく頑張ったと思います。本日、簿記検定試験の結果が発表されましたが、こちらは会計の合格者が89名(総合1級79名)でした。6月の原価計算の合格者が162名だったことを考えると、思ったほど伸びなかったという印象です。しかし、不合格者中約2割程度の人には60点以上を取っており、このまま学習を続けていけば次回の6月検定で合格する可能性が高いと思います。50点台まで幅を広げるとさらに多くの人にとっています。おそらく基礎力をもう少し上げるだけで合格圏に入ってくると思います。さらに努力を続けチャレンジしましょう。

今回の一連の検定試験対策で努力を怠った人は、このままで良いのか自分自身を見つめなおしてください。まじめに地道に取り組むことから逃げていませんか。逃げ癖は長い期間にわたって身に着けてしまうと厄介です。常にその思考に支配されます。成長や成功という言葉から遠ざかってしまうのです。しっかり向き合って取り組む姿勢をつくり維持し続けることは、それだけで訓練になり自らを成長させることになると私は考えます。失敗したら、反省、改善して次回に活かす。あきらめずに粘り強く取り組んでいきましょう。

## 撫子賞受賞!

先日、撫子賞の授賞式があり、この学校の一人として参加してきました。この撫子賞は善行賞ともいわれる小学生から高校生までの個人団体を対象に甲府市から贈られる賞です。この賞を2年6組の日原ありさんが受賞しました。

日原さんは昨年、火災被害に遭い全焼という被害をうけました。自身も被害に遭いながらも、周囲の方々の人命救助にあたりました。災害はいきなりやってきます。慌てて自分のことで精一杯なのが普通かもしれません。しかし、咄嗟にこうした救助に向かうことが出来たのは、日頃の考え方や姿勢がしっかりしているからだと思えてなりません。まさに撫子賞にふさわしいと思います。

この日、以前お世話になった山梨大学の服部先生に久しぶりにお会いすることが出来ました。授賞式の講評でみえられており、式後、お話をさせていただきました。その中で、甲府商業に勤務していることを話すと「あの子は素晴らしかった」と褒めてくれました。日原さんは受賞者代表としてお礼の言葉を任され、それを原稿も読まずにきちんとやり切りました。素晴らしい行いは様々な人に良いイメージと記憶を残すのです。こうしたことの積み重ねが大きな財産となっていくものだと思います。お互いを高めあっていくことが、この学校を盛り上げていく原動力となります。皆さん日々前向きに取り組みましょう。

